

和光市図書館サービス計画進捗状況評価 総括表【R1年度】

基本施策	施策	評価	改善点のコメント	基本施策の評価コメント
和光市らし I さを意識し た図書館へ	1 図書資料等の収集・保存	適切	特になし	蔵書管理は適切に行われている。今後は一般書の割合を増やして利用を促進していただきたい。
	2 視聴覚資料の充実	適切	上映会時のDVDと原作本のセットはとても魅力的だと思うので、是非実施してほしい。	
	3 郷土・行政資料の収集・保存	適切	郷土資料に関しては、図書館以外でも貴重な物を保存しているという情報データは、残しておいた方がいい。また、紙で見られなくても、デジタル化すれば、電子アクセスが可能なので、デジタル化の構築も考える価値がある。	
みんなが利 II 用しやすい 図書館へ	1 乳幼児、小学生へのサービスの充実	適切	コロナの影響があるので、次年度以降の目標値及び数値指標について再度検討の必要がある。事業を動画で実施するのは素晴らしい事なので、広報の仕方について検討してほしい。	利用者に応じたサービスが適切に行われている。今後は成人へのサービスの充実にに向けた取組を実施していただきたい。
	2 中学生及び高校生へのサービスの充実	適切	特になし	
	3 成人へのサービスの充実	適切	zoomを利用してテーマを決めたオンラインお茶会やカフェの実施を検討してほしい。	
	4 障害者・高齢者へのサービスの充実	適切	日本点字図書館による、視覚障害者や困難者に対して点字や音声データを提供するネットワークである「サピエ」を導入すると、サービスの視野が広がる。	
	5 外国人へのサービスの充実	適切	TwitterやYouTubeなどで、図書館のアカウント作成を検討してほしい。図書館情報の英語版を市の英語版ホームページに掲載してほしい。アンケート調査は、少数外国人や市役所関係課職員、事業主催者に聞き取り調査をしてみても、いかがだろうか。何かしらの数値目標が設けられると思う。洋書についてはテーマ別貸出で対応してほしい。また、図書館にどのような対訳の本があるのか、学校に提供してほしい。	
居心地の良 III い図書館へ	1 公共施設等と連携したサービスの提供	適切	市役所職員に図書館の活用方法について周知し、図書館をアピールしてほしい。	図書館機能の充実については適切に行われている。ただし電子図書館の推進および本館の老朽化への対応をしていただきたい。
	2 地域、ボランティアとの連携	適切	分館で実施している『ひとハコ図書館』がうまくいっていて、希望する団体があるのならば、本館でも実施してほしい。	
	3 コミュニティ情報等の収集・保存・発信	適切	地域コミュニティのデジタル情報の収集に取り組んでほしい。	
	4 図書館施設等の保全	不十分	施設の老朽化等を考え、図書館協議会として答申を出し、新館建設の必要性を訴えたい。蔵書冊数の増加という点からも、新しい図書館は必要である。	
	5 電子図書館の推進	適切	和光市は人口が増加しており、電子書籍導入の検討の必要性がある。Wi-Fiを利用したサービスを検討してほしい。具体的にはパソコンやタブレットを活用したものがいいのではないかな。	
	6 図書館の効率的・効果的運営及び職員の資質の向上	適切	学校図書館アドバイザーとの合同研修は学校としては心強く、アドバイザーの意識向上と質向上を学校現場で感じている。今後も継続をお願いしたい。	

基本施策 I 和光市らしさを意識した図書館へ

施策 1 図書資料等の収集・保存

< 5年後の目指す姿 >

本の収集を行い、収蔵量の範囲内で適切な蔵書管理を行うことで、市民が多くの情報に触れられる図書館となる。

2018年度評価：適切である
一般書の割合を増やして、大人の利用者を増やしていく。

取組内容・状況	(1) 適切な蔵書管理	取組年度 (2018~)
	選書会議を定期的で開催し、リクエスト資料や買替資料等を含めた選書を行い、蔵書の充実に努めた。一般書、児童書の購入割合については予算に準じて購入している。 【次年度以降に向けた展望・課題】 大人の利用者を増やす選書について意識していく。	
	(2) 利用者ニーズを把握するためのアンケートの実施	取組年度 (2021~)
	(3) 除籍資料 (リサイクル図書) の活用	取組年度 (2018~)
除籍資料を活用し、『本・雑誌のリサイクル』事業を本館4回、分館2回実施した。毎回、本館では80名以上、分館では40名以上の来場があった。イベント終了後も、1か月程度は館内にリサイクル資料を設置するため、除籍した資料の大半が有効活用できている。 【次年度以降に向けた展望・課題】 新型コロナウイルスの関係でリサイクル事業の開催が難しくなったため今後の方法を検討する。		
(4) 図書資料の保存場所等の検討・確保	取組年度 (2020~)	

取組内容	現状値(2016)	2018	2019	2020	2021	2022	
図書資料 (一般書・児童書・雑誌・付属品) の蔵書数	目標値 (冊)		217,000	223,000	229,788	230,000	230,000
	実績値	192,431	209,192	222,154			
	達成率		96.4%	99.6%			
図書資料の満足度 (質) (来館者アンケート)	目標値 (%)		-	-	-	-	60
	実績値	55.3%					
	達成率						

評価	図書館による評価 (自己評価)	
	図書資料等の収集・保存については概ね適切に行ってきた。 本館、分館ともに、引き続き図書館資料収集方針に則り、適切な資料収集を行っていく必要がある。	
	図書館協議会による評価 (外部評価)	評価コメント
内容	(1)適切である (2)概ね適切である (3)不十分である	特になし

基本施策Ⅰ 和光市らしさを意識した図書館へ

施策2 視聴覚資料の充実

<5年後の目指す姿>

視聴覚資料を充実・活用し、その満足度が高い図書館となる。

2018年度評価：適切である	
・若い世代に向けて、ドラマや映画で上映されているものと原作をセットにしたリストを企画し、作成すると今年度の取組の積み重ねになる。また、自然科学のDVDは、その分類の本の書棚に置くなど配置を工夫すると付加価値が付いてくる。	

取組内容・状況	(1) 適切な蔵書管理	取組年度 (2018~)
	・評価が定まってお長く利用され得るであろう視聴覚資料を中心とし、蔵書構成、地域性、利用者のニーズを考慮して、資料を選定し収集している。	
	(2) 利用者のニーズを把握するためのアンケートの実施	取組年度 (2018~)
・視聴覚資料 (CD・DVD) については、利用者からのリクエストを考慮すると共に、購入前に館内でアンケートを実施し、職員による選書会議において購入を決定している。		
・全職員にも業務で使用するCD・DVDのリクエストを募集した。		
状況	(3) 視聴覚資料を活用した事業の充実	取組年度 (2018~)
	・令和元年度は、大人向け上映会ではヒッチコック監督作品「バルカン超特急」を上映して好評を得た。また、子ども向けとしては「アルプスの少女ハイジ」を上映し、原作本の展示も同時に行ったところ借りて行く姿も見られた。 【次年度以降に向けた展望・課題】前年度の視聴覚資料選定時に、上映会で使用することを目的として購入した資料を早速活かすことが出来たので、今後も、利用者楽しんでもらえるような様々なジャンルから吟味して、上映権付DVDを選定したい。また、若い世代に向けたドラマや映画で上映されているものと原作をセットにした企画等を実施する。	

取組内容	現状値(2016)	2018	2019	2020	2021	2022
視聴覚資料の蔵書数 (点)		9,480	9,610	9,740	9,870	10,000
	9,350	9,524	9,227			
		100.5%	96.0%			
視聴覚資料を活用した事業の実施回数 (回)		3	3	3	3	3
	3	3	2			
		100.0%	66.7%			
視聴覚資料を活用した事業の参加者満足度 (%)		75.0%	80.0%	85.0%	90.0%	90.0%
	-					
視聴覚資料の満足度 [来館者アンケート] (%)		-	-	-	-	40.0%
	18.7%	-	-	-	-	
		-	-	-	-	
		目標値 (修正後)	6,250	6,350	6,450	6,550
ナクソス・ミュージックライブラリーの利用者口グイン数 (回)		4,000	4,100	4,200	4,300	4,400
	1,458	6,229	4,555			
		155.7%	111.1%			

評価	図書館による評価 (自己評価)	
	視聴覚資料の充実については、適切に行っている。 今後も図書館資料収集方針に則り適切な資料収集を行っていくとともに、事業の充実を図っていく必要がある。	
	図書館協議会による評価 (外部評価)	評価コメント
内容	①適切である ②概ね適切である ③不十分である	上映会時のDVDと原作本のセットはとても魅力的だと思うので、是非実施してほしい。

基本施策Ⅰ 和光市らしさを意識した図書館へ

施策3 郷土・行政資料の収集・保存

<5年後の目指す姿>

郷土資料を活用することで、みんなが和光市の歴史や郷土の偉人を知り、和光市を身近に感じられる図書館となる。

2018年度評価：適切である
・郷土・行政資料のデジタル化は、生涯学習課の分野であり、図書館の主導することではないが、県の郷土・行政資料をまとめて受け入れる事は、とても良い取組だと思う。

取組内容・状況	(1) 市民と連携・協力した郷土資料等の収集・保存	取組年度 (2018～)
	・和光市デジタルミュージアムと連携し情報の提供を行っている。市民が所有している郷土資料等については、「和光市図書館地域資料収集方針」に基づき、寄贈等による受け入れを行っている。	
	(2) 本市ゆかりの文化人の資料の収集・保存	取組年度 (2018～)
	清水かつら、大石真、新坂和男といったの本市ゆかりの文化人の資料については、引き続き図書館まつりの古本市の売上を活用して購入している。分館では古本市の売上げの一部を使用し、郷土作家の資料 (21冊) をAmazonにて購入を行い、蔵書の充実を図った。	
	(3) 子ども向け郷土資料の充実	取組年度 (2018～)
分館においては和光市について調べるためのパスファインダーを作成した。また、調べるための情報ファイルのジャンルや表記の仕方を見直し、子供たちにわかりやすいカテゴリーに分類した。 【次年度以降に向けた展望・課題】市内小学校に配布し活用してもらおう。		
(4) 郷土・行政資料を活用したイベントの開催	取組年度 (2018～)	
・創作風の制作や、絵本作家として知られた、郷土作家である新坂和男氏にちなみ、「小学生風づくり講座」を開催した。また、令和元年12月から翌年1月まで、館内で新坂和男氏が制作した風の展示と原画展を実施した。 【次年度以降に向けた展望・課題】分館で開催できる催しがどうか検討する。		
(5) 地域の思い出を共有する企画	取組年度 (2019～)	
・令和元年度は実施できなかったため、令和2年度以降に実施予定。		

数値指標	取組内容	現状値(2016)	2018	2019	2020	2021	2022
		目標値 (修正後)			5,450	5,500	5,550
郷土・行政資料の蔵書数 (冊)	目標値 (冊)		4,850	4,900	4,950	5,000	5,050
	実績値	4,804	5,406	5,483			
	達成率		111.5%	111.9%			
郷土・行政資料等を活用した和光市を知る企画 (回)	目標値 (回)		2	2	2	2	2
	実績値	2	1	1			
	達成率		50.0%	50.0%			

評価	図書館による評価 (自己評価)	
	資料の収集については、行政資料や、市内団体からの発行物などを確認し、適切に収集できている。 基本的に郷土資料は除籍しない方針だが、特に本館は開架書架・閉架書庫ともにキャパシティが限界のため、今後は受け入れを和光市に関する資料に限定したり、県や他市の郷土資料で単館所蔵でないもの等は除籍していくなど、見直しを図る必要がある。 郷土資料に関わる講座については、本館では例年新坂和男氏にちなんだ風作り講座を開催しているのので、分館で開催ができる催しがどうか検討したい。	
	図書館協議会による評価 (外部評価)	評価コメント
内容	(1)適切である (2)概ね適切である (3)不十分である	郷土資料に関しては、図書館以外でも貴重な物を保存しているという情報データは、残しておいた方がいい。また、紙で見られなくても、デジタル化すれば、電子アクセスが可能なので、デジタル化の構築も考える価値がある。

基本施策Ⅱ みんなが利用しやすい図書館へ

施策1 乳幼児、小学生へのサービスの充実

<5年後の目指す姿>

多くの子どもたちが本に親しみ、本を読む習慣を身につけている状態となるようにサポートできる図書館となる。

2018年度評価：適切である

民営の保育園に団体貸出を行ったり、絵本を読み聞かせたり、いろいろと取組をしていて素晴らしい。引き続き工夫してと取組を考えていただきたい。

取組内容・状況	(1) 第3次和光市子ども読書活動推進計画に基づく事業の実施 【乳幼児向けの取組み】	取組年度 (2018～)
	<p>「あかちゃんと楽しむ絵本とわらべうた」、「絵本とおはなしの会」などを実施するとともに、平成25年9月から行っている「ブックスタート」を引き続き実施した。子育て支援センターへの出張の他に、分館での開催日と土日・祝日の開催日を増やして、より利用者が参加しやすいように努めている。令和元年度より「絵本とおはなしの会」が毎月第1～3土曜日の開催となったことを受けて、第4土曜日はボランティアと職員による「土曜えほんタイム」を開始した。平成27年10月から実施している「あかちゃんタイム」については、平成29年度よりボランティア運営から図書館職員の運営に変わり、訪れた乳幼児親子にわらべうたや絵本の読み聞かせを実施している。引き続き、市内保育園でボランティアによる読み聞かせを行った。(ほんちよう、ひろさわ、にいくら)。分館においては、平成30年度から「あかちゃんタイム」をリニューアルし、図書館職員の運営によりわらべうたや絵本の読み聞かせを実施し、引き続き乳幼児親子の参加に努めた。</p> <p>【次年度以降に向けた展望・課題】新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、感染症対策が新たな課題となっている。自由参加だった事業を申込制にして人数を制限したり、検温や消毒、換気、参加者名簿の作成を行い、参加者の安心と安全を確保した事業の体制を整えたい。また、対面型の事業やサービスの提供だけでなく、わらべうた等の動画の作成や配信、オンライン事業の開発など、「新しい生活様式」に則った新しい形でのサービスを提供できるよう、情報収集や職員の技術獲得、向上に励みたい。</p>	
取組内容・状況	(2) 第3次和光市子ども読書活動推進計画に基づく事業の実施 【小学生向けの取組み】	取組年度 (2018～)
	<p>引き続き、市内小学校で読み聞かせ・ブックトークを行った。9月は白子小でボランティアによる大石真作品の読み聞かせ、11月には本町小でボランティアと職員による読み聞かせとブックトークを行った。その他、図書館見学の受入れや団体貸出、テーマ本貸出を行った。団体貸出・テーマ本用の本について、より児童の興味を引いて手に取りやすい内容とする為、積極的に新しい本を購入して古い本と入れ替えを行っている。また、学校教育課と連携し図書館アドバイザー研修を継続して行っている。7月に「夏休み宿題教室」の開催、8月に「夏休みこどもの集い」において、小学生を対象とした読み聞かせや影絵等のイベントを実施した。その他、年に2回英語絵本の読み聞かせ、年に2回小学校(元小学校教諭含む)教諭を招いてブックトークの実演、年に2回講師を招いて「子どもの科学」等を実施している。</p> <p>分館においては、引き続き「小学生向けひまわりおはなし会」、年に2回小学校教諭を招いてブックトークの実演(親しみやすく「ぶっくわーど」と講座名を変更)、年1回講師を招いて「子どもの科学」を実施した。また、毎週金曜日には「おりがみの日」を実施し、図書館を身近に感じてもらう仕掛け作りを行っている。夏休みの時期には、「図書館でみつけよう!夏休み自由研究」を企画し、児童の自由研究を応援するアイデアカード「自由研究のタネ」を配布したり、児童に職業体験をしてもらう「体験してみよう!図書館司書のおしごと」を行った。また、図書館編集長を講師に招き「夏休み!みんな大好き、図鑑のヒミツ」講座を開催したほか、親子で工作を楽しむ「ダンボールおもちゃカタカタをつくろう!」を行った。11月には、開館記念月間イベントとして「はじめてのおつかい」、「絵本の世界を楽しもう」(読み聞かせ、絵本にちなんだおやつ作りと工作)を行った。また12月に「お正月飾り作り」を行った。春休みの時期に「ぬいぐるみのおとまり会」など、企画をたてたが新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止となった。その他、下新倉小児童への調べ学習支援の体制を継続して行い、その他下新倉小児童への朝の読み聞かせや、授業内での図書館利用、長期休暇前の図書の貸出、市内小中学校へ団体貸出は継続して行っている。</p> <p>【次年度以降に向けた展望・課題】同上。</p>	

数 値 指 標	取組内容		現状値(2016)	2018	2019	2020	2021	2022
	乳幼児・小学生対象事業 等参加人数(人)	目標値(人)			3,690	3,760	3,830	3,900
実績値		3,608		3,734	2,769			
達成率				101.2%	73.6%			
読書習慣がある児童の割 合[小学3・5年生](%)	目標値(%)			-	-	-	80	-
	実績値	75.5		-	-	-		-
	達成率			-	-	-		-
1箇月間に読んだ本の冊 数が0冊の児童の割合[小 学3・5年生](%)	目標値(%)			-	-	-	2	-
	実績値	4.9		-	-	-		-
	達成率			-	-	-		-

評 価	図書館による評価(自己評価)	
	<p>今年度より、参加人数が伸び悩んでいた「子どものための読書会」の名称をより親しみを持ってもらう為「ぶっくわーど」に変更したが、台風とコロナで4回中2回が中止になったにも関わらず前年度の68%の参加があったので効果を感じた。また、調べ学習や夏休みの自由研究の支援、司書体験、本の世界を多面的に体験する企画など、新たな取り組みも行い、利用の幅を広げることができたと考えている。</p>	
内 容	図書館協議会による評価(外部評価)	評価コメント
	<p>①適切である</p> <p>②概ね適切である</p> <p>③不十分である</p>	<p>コロナの影響があるので、次年度以降の目標値及び数値指標について再度検討の必要がある。事業を動画で実施するのは素晴らしい事なので、広報の仕方について検討してほしい。</p>

基本施策Ⅱ みんなが利用しやすい図書館へ

施策2 中学生及び高校生へのサービスの充実

<5年後の目指す姿>

多くの中高生が本に親しみ、本を読む習慣を身に着けている状態となるようにサポートできる図書館となる。

2018年度評価：適切である
図書館クラブや読み聞かせなど、中高生にとっては、イベントなど一緒に企画をする参加型イベントの方が楽しめるのかもしれない。いろいろと頑張っていると思う。

取組内容・状況	(1) 第3次和光市子ども読書活動推進計画に基づく事業の実施 【ヤングアダルトコーナー等の充実・中高生向け講座の実施・学校における取組への支援】	取組年度 (2018~)
	<p>・夏休み子どものつどいにおいて、市内中学生によるビブリオバトルを開催した(8月)。また、審査員には市内高校に在学中の生徒に加わっていただき、読書推進の啓発を行った。</p> <p>・小学校、中学校及び市内高校の授業等で必要な資料をテーマ本として貸出を行い、授業のサポートを行った。</p> <p>・中高生向けの事業として、図書館クラブ(8月に好きな本のPOPづくり、12月に本の福袋づくり)を開催した。(分館)</p> <p>・中高生向けの図書館情報紙「YA通信」を年に4回発行した。青少年読書感想文全国コンクール課題図書、図書館オススメの本、新着漫画、CD(利用者アンケートを実施し購入)等の紹介、中高生向けの講座のお知らせや、年間ベストリーディング等を掲載した。</p> <p>・毎年行われる埼玉県の高校図書館司書が選んだイチオシ本のフェア開催に伴い、2019年度版のポスター及びPOPシートをYA棚に展示した。イチオシ本に選ばれた本で所蔵のない本は購入した。</p> <p>・市内高校より依頼を受け、保育授業における絵本の読み聞かせ講習の講師として、図書館で活動しているボランティアの方々を派遣した。</p> <p>【次年度以降に向けた展望・課題】中高生向けの事業、図書館クラブに参加する生徒はボランティア証明書希望する生徒が多く、夏のイベントへの参加率が高い。イベントを春夏期の年2回の実施を検討したい。また、コロナ禍では学校が毎年実施するボランティア事業(保育園との連携等)が少なくなる、またはなくなることも考えられるため、自宅でできる図書館事業へのボランティアイベントなどを検討していきたい。</p>	

取組内容	現状値(2016)	2018	2019	2020	2021	2022
読書習慣がある生徒の割合[中学2年生](%)	目標値 (%)	-	-	-	80	-
	実績値	74.3	-	-	-	-
	達成率	-	-	-	-	-
読書習慣がある生徒の割合[高校2年生](%)	目標値 (%)	-	-	-	60	-
	実績値	52.3	-	-	-	-
	達成率	-	-	-	-	-
1箇月間に読んだ本の冊数が0冊の生徒の割合[中学2年生](%)	目標値 (%)	-	-	-	2	-
	実績値	3.7	-	-	-	-
	達成率	-	-	-	-	-
1箇月間に読んだ本の冊数が0冊の生徒の割合[高校2年生](%)	目標値 (%)	-	-	-	26	-
	実績値	37.5	-	-	-	-
	達成率	-	-	-	-	-
	目標値(修正後)	3	4	4	4	4
中高生向けイベントの実施回数(回)	目標値(回)	3	3	3	3	3
	実績値	2	4	3	-	-
	達成率	-	133%	100%	-	-

評価	図書館による評価(自己評価)	
	中高生へ向けた講座を積極的に企画・開催することができた。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年3月開催予定であった中高生向けの講座は中止となった。	
	図書館協議会による評価(外部評価)	評価コメント
内容	①適切である	特になし
	②概ね適切である	
	③不十分である	

基本施策Ⅱ みんなが利用しやすい図書館へ

施策3 成人へのサービスの充実

<5年後の目指す姿>

現役世代が利用したくなるような図書館となる。

2018年度評価：適切である
・医療コーナー・パソコン優先席の設置、また、国立がん研究センターに「がん情報ギフト」の申し込みを行ったりと、いろいろと工夫がみられる。来年度は医療情報コーナーを重点的に取り組むのが良いだろう。

取組内容・状況	(1) 現役世代の利用率向上のための取組の実施	取組年度 (2018~)
	・毎月テーマを変えて展示を実施した。 ・旧総合児童センターから書架を譲り受け、新書コーナー及び科学道100冊コーナーを設けた。 ・寄贈されたかん情報ギフトについて、館内で閲覧できるようにした。	
	(2) 館内閲覧用パソコンの充実	取組年度 (2018~)
	・館内閲覧用パソコンを本館・下新倉分館に設置し、希望者がいつでも利用できるようにしている。 ・「D1-Law.com」(法情報)「ヨミダス歴史館」(読売新聞)「ナクソスミュージックライブラリー」(音楽)「ジャパンレッジ」(百科事典)、官報情報検索サービス(官報)の5つのオンラインデータベースを導入し、館内利用者用パソコンや自宅(ナクソスミュージックライブラリーのみ)において利用できるように設定している。 ・平成31年2月から下新倉分館でも国会デジタル資料送信サービスを利用者が利用できるようになり、サービス提供の幅が広がった。 【次年度以降に向けた展望・課題】今後、オンラインデータサービスの周知を図り、利用者数の増加につなげたい。	
状況	(3) 放送大学再視聴施設の充実	取組年度 (2018~)
	平成29年度の配架科目を19科目入れ替えて、平成30年度は1科目増加したが、利用があまり伸びなかった。令和元年度は11科目を入れ替えたが、年度内に科目の入れ替え作業が出来なかったため、平成29年度と比べて利用が少なかった。 【次年度以降に向けた展望・課題】利用者が求めるサービスを提供出来るように、ニーズを把握しながらサービスの充実を検討していく。	
状況	(4) カフェの設置の検討	取組年度 (2018~)
	平成30年度に、①利用者に対するモニタリングアンケートの実施、②他市の事例調査、③講座の作品講評会を兼ねた「お茶会」の実験開催を行い、その結果を踏まえて担当職員による検討を行った。検討の結果、カフェについては大手飲食業に類するサービスを目指すのではなく、図書館の事業の中で参加者同士が交流する場としての「図書館ならではのカフェ的な場」を目指し、平成31年度の分館開館記念月間中に「大人の朗読会」開催後、お茶会を実施した。 【次年度以降に向けた展望・課題】学校と共有の会議室は原則飲食禁止のため、今後、複合施設と調整を図りながら合同開催イベントで、屋外の交流広場等を会場としたカフェの実施を検討する。	

取組内容	現状値(2016)	2018	2019	2020	2021	2022	
館内閲覧用パソコン利用 件数(件)	目標値(件)		1,230	1,250	1,260	1,270	1,280
	実績値	1,213	930	1,180			
	達成率		75.6%	94.4%			
ビジネス支援関連講座の 実施回数(回)	目標値(回)		1	2	2	2	2
	実績値	1	1	なし			
	達成率		100.0%	#VALUE!			
テーマ展示の実施回数 (回)	目標値(回)		24	24	24	24	24
	実績値	24	24	24			
	達成率		100.0%	100.0%			

評価	図書館による評価(自己評価)	
	成人へのサービスの充実については、上記の取組のとおり適切に行ってきている。 図書館の利用が少ない世代のニーズの掘り起こしについては、今後も引き続き検討する必要がある。	
	図書館協議会による評価(外部評価)	評価コメント
内容	①適切である	zoomを利用してテーマを決めたオンラインお茶会やカフェの実施を検討してほしい。
	②概ね適切である	
	③不十分である	

基本施策Ⅱ みんなが利用しやすい図書館へ

施策4 障害者・高齢者等へのサービスの充実

< 5年後の目指す姿 >

障害者や高齢者が利用しやすい図書館となる。また、図書館がアクティブシニアの活動の場の一つになる

2018年度評価：適切である
・日本点字図書館による、視覚障害者や困難者に対して点字や音声データを提供するネットワークである「サピエ」を導入すると、サービスの視野が広がる。

取組内容・状況	(1) 障害等に応じたサービスの実施	取組年度 (2018~)
	・郵送貸出サービス利用件数：4件（2名） ・大活字本を積極的に購入した（86冊） ・LLブック（やさしく読みやすい本）を購入（11冊） ※冊数は全館 【次年度以降に向けた展望・課題】サピエの導入と利用の促進。	
	(2) 市役所関係各課との連携によるニーズの把握及び事業の実施	取組年度 (2018~)
	・地域包括ケア課にて、3年に1度実施している障害者を対象としているニーズ調査に、図書館のニーズ調査も掲載できるよう依頼したが、当館が提示した内容では実施できなかったため、改めて実施を検討する。（主要アンケートの分量が多く、回答の負担が大きいため掲載不可とのこと） 【次年度以降に向けた展望・課題】ニーズ調査に努める。	
取組内容・状況	(3) 対面朗読のための音訳者支援	取組年度 (2018~)
	・音訳講師を招き、『音訳者養成講座』を6回実施。 ・音訳サークル「なごみ」が活動しやすいよう、図書館の会議室にて定例会（自主練習）の場を設けている。	
取組内容・状況	(4) アクティブシニア向けサービスの充実	取組年度 (2018~)
	・『市民図書館講座』にて「人生100年時代の片づけ術～迷わない！本とモノの整理のコツ～」と題し、渡部亜矢氏（一般社団法人実家片づけ整理協会代表理事）を招き、元気なうちに簡単に取り組める実家や自宅の片づけのコツについての講義を団塊の世代向けに実施した。 ・「大人のための朗読劇場（本館：6/2、11/3）」「おとなの朗読会（分館：7/13、11/10）」「おとなの楽しい音読教室（分館：6/28、9/27）」を開催した。 【次年度以降に向けた展望・課題】新型コロナウイルスの関係で音読教室の開催が難しくなったため、代替事業を検討する。	

取組内容	現状値(2016)	2018	2019	2020	2021	2022
目標値 (修正後)			2,407	2,457	2,507	2,557
点字・大活字・録音図書		2,083	2,133	2,183	2,233	2,250
の蔵書冊数 (冊)	2,033	2,357	2,336			
		113.2%	109.5%			
障害者・高齢者サービス		15	16	17	18	20
登録者数 (人)	14	14	13			
		93.3%	81.3%			
60歳以上の登録件数			9,150	9,300	9,450	9,600
(件) (和光市)	7,919	8,069	8,219	8,369	8,519	8,669
		9,012	9,602			
		111.7%	116.8%			
音訳者養成講座実施回数		6	6	6	6	6
(回)	4	6	6			
		100.0%	100.0%			

評価	図書館による評価 (自己評価)	障害者・高齢者へのサービスの充実については、上記の取組状況のとおり適切に行っている。 なお、障害者を対象としているニーズ調査の実施ができなかったため、実施できるよう努める。
	図書館協議会による評価 (外部評価)	評価コメント
	内容	①適切である ②概ね適切である ③不十分である

日本点字図書館による、視覚障害者や困難者に対して点字や音声データを提供するネットワークである「サピエ」を導入すると、サービスの視野が広がる。

基本施策Ⅱ みんなが利用しやすい図書館へ

施策5 外国人へのサービスの充実

<5年後の目指す姿>

外国人が利用しやすい図書館となる。

2018年度評価：適切である
やさしい日本語で作成した利用案内をもくれんハウスにおいてほしい。また、外国人向けのニーズ調査も実施してほしい。外国人対応のための独自の会話カードの作成、そのリニューアルは、素晴らしい取組である。

取組内容・状況	(1) 市役所関係各課等との連携	取組年度 (2018~)
	・2018年度に利用増加を目指し、外国人親子が集う北第2子育て世代包括支援センター（親子ひろばもくれんハウス）に外国語絵本リストを設置した。2019年度は、中央公民館で行われている日本語教室の生徒へのアンケートを行い、必要とされているサービスの調査と図書館のPRを行う予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大のため、実施できなかった。	
	(2) 外国人への情報提供と外国語資料の収集・保存	取組年度 (2018~)
	・英語資料については、近年一般書、ヤングアダルト、児童の読み物の購入に力を入れ、ベストセラーや基本書を揃えてきたので、平成30年度は子ども達のための絵本や平易な読み物を主に購入した。これらの資料は、令和2年の教育改革（英語が3年生から必修化、5年生から教科化する）に向けた取り組みでもあり、外国人・日本人双方の子どもたちの英語学習に役立つものである。大人向けの資料としては、ピュリッツァー賞やブッカー賞の受賞作品や現代日本小説の英語版など、人気の小説を中心に購入を行った。令和元年度は、子ども向けとして、著名な賞を受賞した英米作品のほか、中国語・韓国語を母国語とする児童の入学がここ毎年あるという市内小学校の声を聞き、中国語、韓国語の絵本や読み物を中心に購入した。その際、両方の文化に興味を持ってもらえるよう、日本人作家の作品や、日本語に翻訳されている作品（所蔵のあるもの）を集め、対訳で読めるよう選書を工夫した。今後もニーズを聞き取り、支援できる体制作りに努めたい。大人向けは、英・米の著名な賞の受賞作品のほか、人気が高まっている韓国文学作品などを購入した。 ・館内での外国人対応のために独自の会話カードを平成28年に作成したが、平成30年度は内容の見直しを行った。今後より実用的なものにしていく予定。 ・令和元年度は、洋書コーナー内に、日本語を勉強する外国人向けの資料を集めた「LEARN JAPANESE!（日本語を学ぼう!）」コーナーを新たに設置した。 ・平成29年度は行われなかった英語絵本の読み聞かせ事業が、平成30年より復活し、令和元年度も継続して行っている。 【次年度以降に向けた展望・課題】新型コロナウイルス感染拡大を受け、図書館では感染症対策を様々に行ったり、サービスを一部制限しているが、その状況を外国人向けにうまくアナウンスできていない。現状、図書館ホームページでは、日本語／英語（その他の外国語を含む）の切り替えができる仕組みではなく、英語の利用案内を掲載するのみに留まっており、最新情報を外国人に届ける仕組みがない。今後はSNSを活用したり、ホームページで専用ページを作成するなどして、その仕組みを構築していきたい。	

数値指標	取組内容	現状値(2016)	2018	2019	2020	2021	2022
外国語資料の蔵書数 (冊)	目標値 (冊)		1,300	1,310	1,320	1,330	1,340
	実績値	1,129	1,374	1,466			
	達成率		105.7%	111.9%			
	目標値 (修正後)		1,750	1,800	1,850	1,900	1,950
	目標値 (冊)		1,300	1,310	1,320	1,330	1,340
	実績値	1,296	1,648	1,629			
外国語資料の貸出冊数 (冊)	目標値 (冊)		1,300	1,310	1,320	1,330	1,340
	実績値		1,648	1,629			
	達成率		126.8%	124.4%			
	目標値 (修正後)			3	3	3	3
外国人向け事業の実施回数 (回)	目標値 (回)		1	2	2	2	2
	実績値	1	2	3			
	達成率		200.0%	150.0%			
	目標値 (回)						

評 価	図書館による評価（自己評価）	
	世の中の流行を捉え、聞こえるニーズを拾い、サービスを概ね適切に行っている。図書館に来館したことのない外国人への周知も兼ねたアンケートが実施できなかったことが残念だが、今後状況を見て行っていきたい。外国人に一番アプローチできるのは転入時だと思われるので、今後は戸籍住民課などと協力して、図書館の存在をまずは知ってもらうことに力を入れ、聞こえてくるニーズを拾うに留まらず、自ら動いて情報を収集し、更なるサービス向上を目指したい。	
	図書館協議会による評価（外部評価）	評価コメント
内 容	<input checked="" type="radio"/> (1)適切である <input type="radio"/> (2)概ね適切である <input type="radio"/> (3)不十分である	TwitterやYouTubeなどで、図書館のアカウント作成を検討してほしい。図書館情報の英語版を市の英語版ホームページに掲載してほしい。アンケート調査は、少数外国人や市役所関係課職員、事業主催者に聞き取り調査をしてみても、いかがだろうか。何かしらの数値目標が設けられると思う。洋書についてはテーマ別貸出で対応してほしい。また、図書館にどのような対訳の

基本施策Ⅲ 居心地の良い図書館へ

施策1 公共施設等と連携したサービスの提供

< 5年後の目指す姿 >

様々な機関と連携し、それぞれの強みを活かした事業を実施する図書館となる。

2018年度評価：適切である
・公民館の図書室の電気は、開室しているときは点けてほしい。

取組内容・状況	(1) 公民館図書室の利用方法の検討・実施	取組年度 (2018~)
	公民館図書室は図書の受け取り場所としての意義もあることから、利用方法については引き続き検討を行う。	
	(2) 市内の機関(国等)や企業、医療機関等との連携	取組年度 (2018~)
	・本館による図書館まつりにおいて、大人の秘密基地アルコイリス、社会福祉協議会による出店協力を受ける等の連携を行っている。 ・下新倉分館では4月に下新倉児童館・下新倉学童クラブと連携して「ふれあいまつり」を行っている他、8月に地域の自治会等と連携して「サマーフェスタ」を開催した。	
	(3) 県内公共図書館、近隣図書館との連携等	取組年度 (2018~)
取組内容・状況	・相互貸借による連携を行い、2,936冊の資料提供を受け、和光市から2,690冊の貸出を行った。 ・協力車調査により、県内図書館の諸課題について相互に状況を確認している。(合計10件) ・朝霞地区四市図書館連絡会を開催して情報を共有している。 ・協力車を活用し、県内の図書館に「図書館だより」などの配布物を依頼、連携を図っている。	
	(4) 市内各公共施設との連携によるサービスの充実	取組年度 (2018~)
	・下新倉児童館の親子サークルが図書館を訪れ(年3回)、図書館の利用についての説明、読み聞かせやわらべ歌などの実演、希望者に図書利用券の作成や資料の貸出などを行い、児童館との連携を行っている。	
	(5) 市役所関係各課等との連携による事業等の充実	取組年度 (2018~)
	・行政サービスを提供する上で参考となる資料の貸出やレファレンス、業務遂行上の課題が解決できるよう「庁内業務支援サービス」を実施。令和元年度は、保健福祉部、教育委員会から8件の依頼があった。 ・各課より依頼のあったテーマに沿った、図書館資料の展示を行った。(保健福祉部「自殺予防週間の心の健康」「がん検診受検の普及啓発活動」) 【次年度以降に向けた展望・課題】 庁内業務支援サービスの周知に努める。	

数値指標	取組内容	現状値(2016)	2018	2019	2020	2021	2022
	公民館図書室における貸出点数(点)	7,917	7,950	7,960	7,970	7,980	8,000
			5,601	5,645			
			70.5%	70.9%			
	市内業務支援サービスの実施件数(件)	7	10	11	12	13	14
			13	8			
			130.0%	72.7%			
	市役所以外の機関と連携して行った事業の数(件)	3	3	3	3	3	3
			3	4			
			100.0%	133.3%			

評価	図書館による評価(自己評価)	
	公共施設等と連携したサービスの提供については概ね適切に行ってきた。公民館図書室における貸出点数については、分館ができた影響で目標値には届いていないが、予約本の受け取り件数については増加しているため今後も周知を図っていく。	
	図書館協議会による評価(外部評価)	評価コメント
内容	①適切である ②概ね適切である ③不十分である	市役所職員に図書館の活用方法について周知し、図書館をアピールしてほしい。

基本施策Ⅲ 居心地の良い図書館へ

施策2 地域、ボランティアとの連携

<5年後の目指す姿>

地域やボランティアと連携し、市民・利用者にとって魅力的な図書館となる。

2018年度評価：適切である
現在の「図書館ボランティア」、「図書館サポーター」を「図書館友の会」に移行していくことを検討してはどうか。名称的にも、緩い気持ちで図書館を応援したいという方には、友の会という名称のほうが入りやすいのでは。

取組内容・状況	(1) 図書館ボランティアの育成・支援、連携	取組年度 (2018~)
	<p>新規のボランティア加入者やサポーター登録者が更に増加したことに加え、図書館と日頃交流がない、市内で子供たちと本をつなぐ活動をしているボランティアの方も含めた情報交換の場として、「読み聞かせボランティア交流会」を2/29に企画。開催の告知を行ったが新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止となった。引き続き各事業のボランティアと定期的なミーティングの機会を持ち、連携を行っている。</p> <p>【次年度以降に向けた展望・課題】新型コロナウイルスの関係で交流会が実施できなかったため、代替事業を検討する。図書館サポーターの活動についても活性化できるように検討する。</p>	
	(2) 地域等との連携による図書館事業の充実	取組年度 (2018~)
<p>今年度も、図書館ボランティア等と連携し、夏休み子どもの集い及び図書館まつりを開催した。まつりにおいては、社協及び地元事業者の協力により「図書館カフェ」を実施した。</p> <p>新規ボランティアの協力を得て、新規事業「図書館でボードゲーム」(4/29、11/24)、「おとなの楽しい音読教室」(6/28、9/27)を下新倉分館で開催した。</p> <p>【次年度以降に向けた展望・課題】新型コロナウイルスの関係でボードゲームが実施できなかったため、開催方法を検討する。</p>		
(3) ひと八コ図書館の検討・実施		取組年度 (2018~)
<p>下新倉分館では、市内の地域情報の発信を目的とし、市民や市内で活動する個人または団体を対象に自身の活動のPRができる「みんなのひと八コ図書館」の実施要項を作成すると共に、2020.3.28から館内にひと八コ図書館長がおすすめする本の展示やパンフレットの設置、展示した本のブックリストの作成を開始した。</p> <p>【次年度以降に向けた展望・課題】ひと八コ図書館を軌道に載せ、広く周知する。</p>		

取組内容	現状値(2016)	2018	2019	2020	2021	2022
目標値 (修正後)			140	145	150	155
図書館ボランティア登録人数 (人)		125	130	135	140	145
実績値	124	136	123			
達成率		108.8%	94.6%			
図書館サポーターの図書館事業への参加人数 (人)		140	145	150	155	160
実績値	137	91	57			
達成率		65.0%	39.3%			
ひと八コ図書館の設置数 (箱)		-	1	1	1	1
実績値	-	-	1			
達成率		-	100.0%			

評 価	図書館による評価（自己評価）	
	<p>地域、ボランティアとの連携については、適切に行ってきている。「図書館ボランティアの登録人数」についてはボランティアの新規登録者が増えた一方で、既存のボランティア団体を退会等された人数も多かったことから、目標値を若干下回っている。「図書館サポーターの図書館事業への参加人数」については、例年サポーターにも協力していただいている蔵書点検を職員のみで行ったことや、年度末の団体貸出作業について、新型コロナウイルス感染拡大の懸念から参加を見合わせる方がいたことなどから、参加人数が減少している。</p> <p>実施目標とされていた「みんなのひと八コ図書館」を地域団体の協力のもと開始することができた。</p>	
	図書館協議会による評価（外部評価）	評価コメント
	<p>内容</p> <p>(1)適切である</p> <p>(2)概ね適切である</p> <p>(3)不十分である</p>	<p>分館で実施している『ひと八コ図書館』がうまくいっていて、希望する団体があるのならば、本館でも実施してほしい。</p>

基本施策Ⅲ 居心地の良い図書館へ

施策3 コミュニティ情報等の収集・整理・保存・発信

<5年後の目指す姿>

市内のコミュニティ情報を知りたいときに、知ることができる図書館となる。

2018年度評価：適切である	
・コメントなし	

取 組 内 容 ・ 状 況	(1) コミュニティ情報サービスの充実	取組年度 (2018~)
	市内団体が開催するイベント及び、市内施設を会場とするイベントにおいて、チラシの配架やポスターの掲示を行うほか、郷土資料として当該資料のファイル保存を行っている。 【次年度以降に向けた展望・課題】見やすくわかりやすい掲示に引き続き取り組む。	
	(2) 市役所発行のチラシ等の配布	取組年度 (2018~)
	各課より依頼のあったパブリックコメントの募集や、資料の掲示については、館内掲示板に周知している。 【次年度以降に向けた展望・課題】見やすくわかりやすい掲示に引き続き取り組む。	

数 値 指 標	取組内容	現状値(2016)	2018	2019	2020	2021	2022
			当該年度発行の市内情報紙等の保管数(点)	目標値(点)		100	100
	実績値	-	101	182			
	達成率		101.0%	182.0%			

評 価	図書館による評価 (自己評価)	
	本館・分館が相互に協力し、効率的にチラシ等を収集することができた。今後はポスター、チラシの配置の仕方を工夫し、より見やすくしていく予定となっている。	
	図書館協議会による評価 (外部評価)	評価コメント
内 容	(1)適切である	地域コミュニティのデジタル情報の収集に取り組んでほしい。
	(2)概ね適切である	
	(3)不十分である	

基本施策Ⅲ 居心地の良い図書館へ

施策4 図書館施設等の保全

<5年後の目指す姿>

適切に施設を保全し、みんなが満足できる環境を提供できる図書館となる。

2018年度評価：概ね適切である
本館の老朽化に対する解決策を模索してほしい。

	(1) 適切な施設の保全	取組年度 (2018~)
取 組 内 容 ・ 状 況	本館は開館から37年が経過しており、館内の至る所に老朽化の影響がみられる。そのため、現有施設設備を維持していくことが重要である。	
	今年度は、高齢化への対応の一環として、男子トイレ及び女子トイレの和式便器を全て洋式化し、利便性の向上を図った。	
	その他、空調機の一部更新等を行い、館内環境の向上に努めた。	
	【次年度以降に向けた展望・課題】引き続き館内施設の整備に努める。	

数 値 指 標	取組内容	現状値(2016)	2018	2019	2020	2021	2022
			館内の環境の満足度(公 民館含む) [来館者アン ケート] (%)	目標値 (%)	—	—	—
	実績値	69.8%	—	—	—	—	—
	達成率		—	—	—		—

評 価	図書館による評価 (自己評価)	
	図書館施設等の保全については適切に行ってきたが、予防的保全にかかる予算を確保することが困難であるため、施設・設備に修繕等の必要が生じた際は、その都度補正予算等に対応せざるを得ないのが現状である。施設の老朽化による影響が随所に見られるため、現状の状態を維持していけるよう努める。	
	図書館協議会による評価 (外部評価)	評価コメント
	内容	(1)適切である (2)概ね適切である (3)不十分である

施設の老朽化等を考え、図書館協議会として答申を出し、新館建設の必要性を訴えたい。蔵書冊数の増加という点からも、新しい図書館は必要である。

基本施策Ⅲ 居心地の良い図書館へ

施策5 電子図書館の推進

< 5年後の目指す姿 >

Wi-Fi等インターネット環境を整えることで、誰もが様々な情報へアクセスしやすい図書館となる。

2018年度評価：適切である	
・ Wi-Fi、電子書籍等の導入に関しては、実現に向けての努力・検討を期待したい。	

取組内容・状況	(1) 図書館管理システムの充実	取組年度 (2018~)
	令和2年1月下旬から、システム更新を行った。〔利用者がWeb上でセット予約(順番予約)が行えるようになった。ログイン後のパスワードの変更を利用者自身で行えるようになった。学校図書館システムの追加機能が増え、読書数に応じて画面内にメダルを表示し、より多く本を読む意欲のアップにつなげられるようになった。〕 【次年度以降に向けた展望・課題】新図書館システムを生かしたサービスの充実に努める。	
	(2) 電子書籍の導入の検討	取組年度 (2018~)
	未検討。新型コロナウイルス感染症拡大防止により、来館せずに書籍を提供することの必要性を感じた。なお、導入後は書籍を購入し続ける必要があり、継続的に予算確保が必要となるため、慎重に検討していきたい。 【次年度以降に向けた展望・課題】電子書籍導入について検討する。	
	(3) 館内インターネット環境の整備	取組年度 (2018~)
	情報推進課支援のもと、本館にて令和2年3月にWi-Fiの工事をを行い、運用準備が整った。新型コロナウイルスの影響で休館や滞在時間を短縮したことから、利用開始は翌年度(7月)となった。 【次年度以降に向けた展望・課題】導入後の状況を見ながら分館の導入の必要性を検討する。	
	(4) 図書館ホームページの充実	取組年度 (2018~)
	令和2年1月下旬から、システム更新を行いホームページのリニューアルを行った。〔利用者状況の確認(ログイン)や資料検索がし易いレイアウト。Webからのセット予約が可能となった。イベント参加対象者が一目でわかるような見出しの表示(おとな、おやこ、子ども、中高生)。アクセシビリティを考慮(文字サイズ、色の変更)。〕 【次年度以降に向けた展望・課題】新ホームページを生かしたサービスの充実に努める。	

数値指標	取組内容	現状値(2016)	2018	2019	2020	2021	2022
		目標値(修正後)			43,500	43,600	43,700
インターネット予約件数(件)	目標値(件)		28,000	28,500	29,000	29,500	30,000
	実績値	27,885	43,198	40,429			
	達成率		154.3%	141.9%			
	目標値(修正後)			60,000	61,000	62,000	63,000
図書館ホームページ閲覧件数	目標値(件)		48,000	49,000	51,000	52,000	53,000
	実績値	-	59,608	77,362			
	達成率		124.2%	157.9%			

評価	図書館による評価(自己評価)	
	ホームページを含むシステム更新については、適切に行えている。課題となっていたWi-Fiについても導入でき、次年度は導入後の経過を見ながら、今後分館の導入が必要であるか判断していきたい。	
	図書館協議会による評価(外部評価)	評価コメント
内容	①適切である ②概ね適切である ③不十分である	和光市は人口が増加しており、電子書籍導入の検討の必要性がある。Wi-Fiを利用したサービスを検討してほしい。具体的にはパソコンやタブレットを活用したものがいいのではないかな。

基本施策Ⅲ 居心地の良い図書館へ

施策6 図書館の効率的・効果的運営及び職員の資質の向上

<5年後の目指す姿>

職員の質や意識を向上させ、気持ちの良い対応ができる図書館となる。また、図書館運営については和光市図書館協議会により外部評価を受けながら、より良く改善していく図書館となる。

2018年度評価：適切である	・いろいろな取組をしてきた効果が入館者数の増に表れている。引き続き職員の資質向上に向けての取組をお願いしたい。
----------------	---

取組内容・状況	(1) 効率的効果的運営の検討・実施	取組年度 (2018～)
	平成30年3月に『第2次和光市図書館サービス計画』及び『第3次和光市子ども読書活動推進計画』を策定した。また朝霞地区四市図書館連絡会において情報交換を行った。 【次年度以降に向けた展望・課題】カウンター職員、事務室職員相互に業務を分担し図書館を運営していく。	
	(2) 職員の資質の向上	取組年度 (2018～)
	職員と市内小中学校の図書館アドバイザーや図書館で活動するボランティア、一般市民を対象とする職員講座『読みた い心に火をつける！～学校図書館ができること～』の講座を開催した。また図書館職員対象の外部研修にも積極的に参加した。 【次年度以降に向けた展望・課題】今後も必要な研修を実施する。	
	(3) テーマ展示の定期的な開催	取組年度 (2018～)
	毎月のテーマ展示のほかに、加え芥川賞・直木賞・本屋大賞といった賞の発表後に関連本の展示や追悼特集などの展示を行い、利用の促進に努めた。	
(4) 図書館協議会による審議	取組年度 (2018～)	
図書館協議会を3回開催し、平成30年度の取り組み状況の評価や図書館の運営に関する内容を審議した。		
(5) 図書館の運営状況等の情報提供	取組年度 (2018～)	
図書館要覧を作成した。図書館協議会の会議録についても引き続き公表し情報提供を行っている。 図書館ホームページを活用し和光の教育など情報提供を行っている。		
(6) 第3次図書館サービス計画の検討・策定	取組年度 (2021～)	

	取組内容	現状値(2016)	2018	2019	2020	2021	2022	
数値指標	貸出点数 (点)			406,000	406,000	406,000	406,000	
	目標値 (修正後)							
	目標値 (点)		380,000	381,000	382,000	383,000	384,000	
	実績値	371,986	405,288	412,282				
	達成率		106.7%	108.2%				
	レファレンス件数 (件)			10,000	10,000	10,000	10,000	
	目標値 (修正後)							
	目標値 (件)		5,700	5,725	5,750	5,775	5,800	
	実績値	5,670	10,216	11,114				
	達成率		179.2%	194.1%				
	入館者数 (人)			285,000	286,000	287,000	288,000	289,000
	目標値 (修正後)							
目標値 (人)		272,546	297,040	286,429				
実績値			104	106	108	110	110	
図書館職員の研修参加延べ人数 (人)		102	148	113				
目標値 (人)			142.3%	106.6%				
実績値								
達成率								

評価	図書館による評価 (自己評価)	
	図書館の効率的・効果的運営及び職員の資質の向上については、適切に行ってきた。職員の資質の向上については、学校図書館アドバイザーと合同の研修を行うなど、充実した内容で実施することができた。	
	図書館協議会による評価 (外部評価)	評価コメント
内容	(1) 適切である	学校図書館アドバイザーとの合同研修は学校としては心強く、アドバイザーの意識向上と質向上を学校現場で感じている。今後も継続をお願いしたい。
(2) 概ね適切である		
(3) 不十分である		